

山本せいご後援会事務所 : TEL/FAX 0774-95-6288
精華町大字南稲八妻小字門口71 : Eメール seigo722@balloon.ne.jp
: ホームページ http://www.balloon.ne.jp/seigo722/

- 平成22年6月10日より、第3回定例議会が開催されました。(6月10日～6月28日)
山本議員の一般質問を通じて、議会活動報告をいたします。
なお、委員会でのトピックスは、ホームページの「山本せいごの活動報告」でご覧になれます。

■山本せいごの一般質問

質問 1 エコ対策について

1. 町のエコ対策の取り組みの現状は？
2. 今後のエコ対策の取り組み、また国・府主導の中から補完すべき点などについて。
3. 取り組みの成果をいろんな形で報告して、さらに参加者が増える取り組みをしていただきたい。
(ゴーヤの緑のカーテン、ライトダウン、打ち水などについて)
4. 太陽光発電などの助成のための補助金について、検討された経緯があるか。発展のための施策をとっていただきたい。
5. 精華台五丁目は、環境住宅と言うことで環境に配慮した住宅を誘致するということであるが、どういうモデルを考えているのか。
6. LEDの導入は省エネと共に、害虫を寄せ付けないともいわれており、環境にやさしいものとして街灯や夜間点灯するところに取り組んでいただきたい。

答弁

1. **エコ対策の取り組みは、地球温暖化防止に伴う身近な取り組みをしている。**
 - ①4月にゴーヤの種を200世帯に無料配布。ゴーヤの育成講座を実施し、緑のカーテンの取り組みの事業展開をすすめる。
 - ②ライトダウンキャンペーンの展開は、学研地域35企業や各家庭に協力をいただくよう「華創」で呼びかけている。(6月21日及び7月7日に実施)
 - ③打ち水大作戦と銘打ち、ヒートアイランド対策の一環として打ち水を推奨していく予定。
(7月23日から8月23日までの間で家庭の残り水、雨水など利用し、散水していただく)
 - ④庁舎や、外部職場では、KES・環境マネジメントシステム・ステップ1の認証継続の取り組み。
 - ⑤昨年度は、町内広域避難場所にエコソーラライト10基を取り付けた。
2. **今後の取り組みについて、現在環境基本計画等の策定を進行中。**
策定後は、地球温暖化防止施策の事業展開が図れるように努めて行く。
3. **啓発の方法は、せいか祭り、ホームページ、インターネット、広報誌などで啓発していきたい。**
4. **太陽光発電について、補助金などは考えていない。**
過去に独立行政法人の開発機構の助成に準じ取り組んだ経緯があるが、開発機構の廃止と共にすでに廃止されている。
5. **精華台五丁目における環境共生住宅は、学研都市の先行的なモデル街区として整備されるという位置づけとなっている。**
 - ①太陽光パネル全戸設置と掲げられているが、町としての環境政策の中での整理できていない。
 - ②LEDの安全灯については、開発業者と導入に向けての協議は進めている。
6. **LEDについては、人体への影響など論議されているので今後も内容を吟味した上で進める。**

質問 2 居宅介護支援について

1. 町の居宅介護サービスの現状、利用状況はどうなっているか。
2. また居宅介護の中の家族介護への支援はどう考えているか。夜間を含め緊急時の行政窓口は？
3. 利用状況やアンケートなどから、今後充実していく計画、取り組みのものは？
4. 認知症に関して何が1番大切か。認知症対策が今後きめ細かな行政の目が必要ではないか。

答弁

1. 居宅介護サービスの利用状況は、平成20年度実績によると利用の多いサービスは、

- ①通所介護(デイサービス)・年間 2万1,296回の利用、延べ人数 約2,700人が利用している。
- ②次に福祉用具貸与で延べ約2,600人。訪問介護(ホームヘルプサービス)、居宅療養管理サービス、短期入所生活介護(ショートステイ)の順で利用度の高いサービスがある。
- ③利用が少ないサービスは、短期入所療養介護(医療型ショートステイ)で年間144日の利用となっている。
- ④利用者は全体的には、年々増加の傾向にある。

2. 居宅介護の家族への支援として、介護者リフレッシュ事業を行っている。

- ①介護者がリフレッシュいただくための外出支援とか悩み事などの講習会をしている。
また、緊急時の場合は、包括支援センターが窓口となって対応する。

3. 今後充実させたい計画、取り組むものは

- ①認知症のある人の入浴、食事などの介護や日常生活の介護のための認知症対応型共同生活介護(グループホーム)をさらに1ヶ所整備したい。(現在は1ヶ所)
現在の取り組みは、認知症のサポーター養成講座を開催している。まずサポーターの講師役(キャラバンメイト)を12名養成し、約160名がサポーターになっていただいている。
- ②本町にない、介護老人保健施設の整備を進めている。介護やリハビリなど生活面の援助を求める人に対して、日常生活上のケアの利用の推進を考えている。

4. 認知症の対策として、特定高齢者把握事業の中で対策を講じている段階。

この事業では、介護保険サービスを受ける前の健康な方々(特定高齢者)に対し、介護予防の講座を含めた実情、実態の把握や介護保険にかからないような手だての講座を行っている。

質問 3 粕田地区の開発について

1. 整理区画事業の東部地区と府道木津八幡線の取り付け道路、自衛隊道路への取り付けと安全対策を含む計画について
2. 駅東開発の商業ゾーンの利用計画について

答弁

1. 粕田地区の開発による道路整備について

- ①粕田駅東地区と府道木津八幡線とを連絡する道路は、8.5m道路(歩道含む)下粕駅前線と府道の交差点から南に50mのところに整備する。今年度に地元及び関係機関と調整し設計を行う。
- ②府道木津八幡線と自衛隊道の交差点の改良は、現在信号の時間調整をしており、今後も信号の時間調整が必要かと考えている。

2. 商業ゾーンの利用計画は、昨秋、地権者と商業有地の準備会が組織化されている。

- ①粕田駅周辺地区では、特に要望の強い食料品、日用品が買えるスーパーを基本に考えている。
- ②経済状況が悪い中ではありますが、地権者組織と行政が共同して誘致企業などの検討を進めいく。

議員定数削減の議決は、また先延ばしとなる

しかし、7月に臨時議会を開催する中で議決する予定となっている。

議員定数の適正化に向けて、議会・議員の効率運営と質の高い活動に転換すべきと考えています。充分議論を尽くしていながら議決に至らない現状こそ問題なのです。選挙公約に定数削減を掲げ当選した議員は、率先して範を示すことが、選挙民の信託に答える本筋だと考えます。